

作業標準作成支援事例

熟練者の技能を見える化・数値化し、**見逃し減・生産性増・疲労減**を実現！

改善後

精密ゴム部品メーカー様

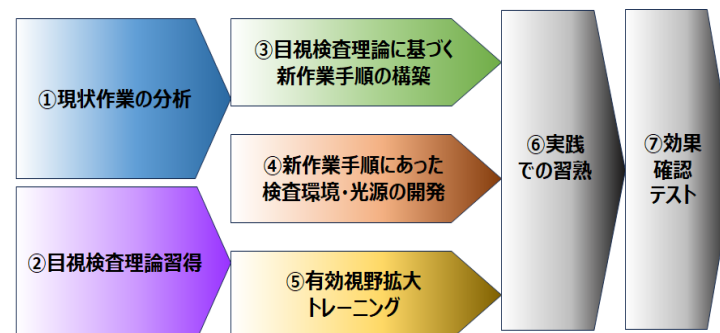


改善前

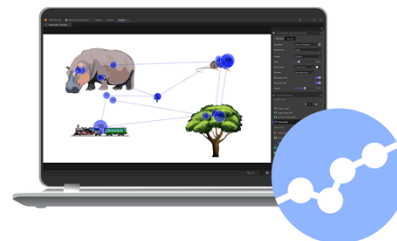
【改善前の悩み】

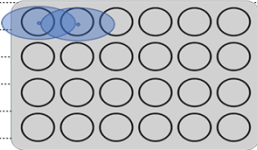
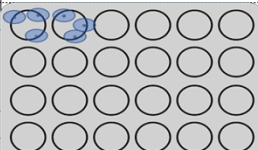
- ・いくら教育しても、見逃しが多い検査員がいる
- ・現状の検査が正しいかわからない
- ・生産性をあげたい

● 7つのステップに沿った作業標準を構築



● グラス3 & TobiiProラボを用いた**ばらつきがおきない見える化・数値化した作業標準構築**



作業標準書			承認		
			承認	審査	作成
作業名	目視全数検査	工程	最終目視検査工程		
【事前教育】					
目視検査の基礎知識					
欠点の基礎知識					
周辺視の習得訓練					
ガラス前面					
NO.	作業内容			注意事項	
【検出】					
1、大きな有効視野で、製品1個を、注視点は1個で検査する。					
2、検査光源と製品は、水平に移動させる。手で製品は、移動させる。					
			悪い視線の動かし方		
					
注視点は、1個/1製品 1製品 2.5秒					

効率的な訓練事例



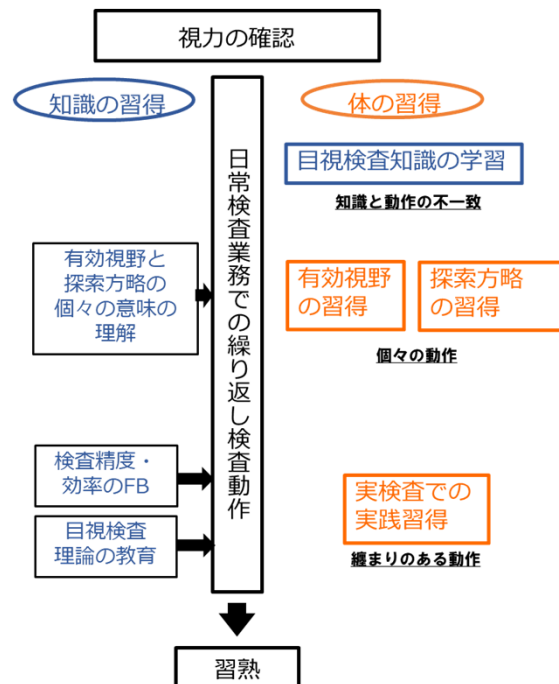
習熟理論と訓練ツールで、**大幅に教育期間を短縮**する！

精密ゴム部品メーカー様

改善後

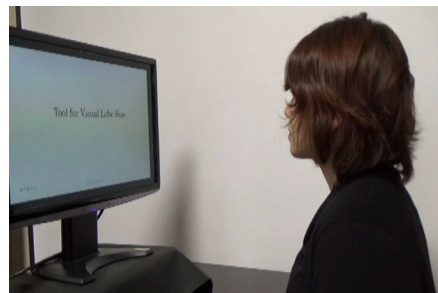


● 習熟理論を用いた**効率的訓練**



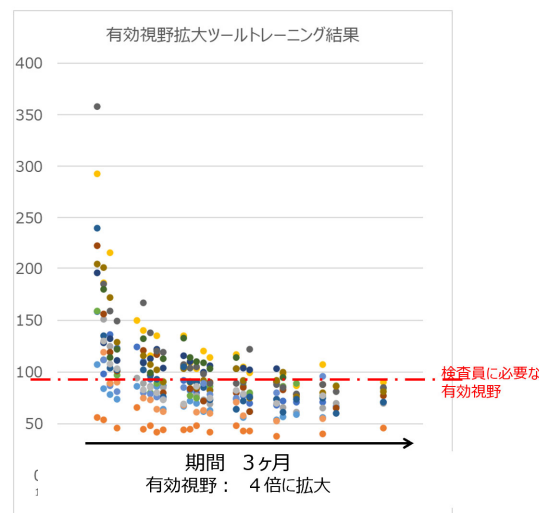
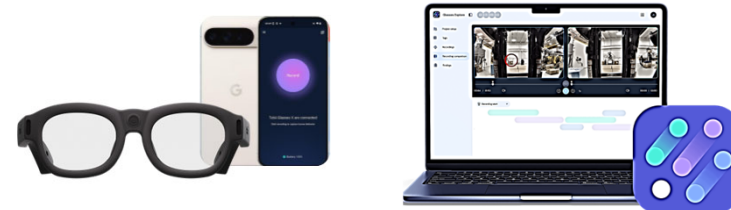
● 有効視野と探索方略の**見える化ツール**を用いた訓練

有効視野訓練ツール

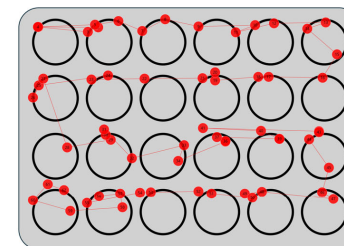


探索方略訓練ツール

Glasses X & Glasses Explore

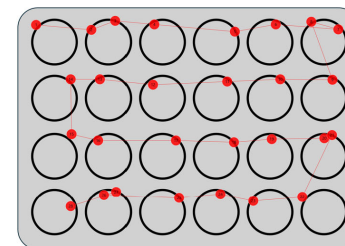


訓練中の検査員の探索方略



検査タクト 148秒/回
注視点数 62点/面

熟練検査員の探索方略



検査タクト 53秒/回
注視点数 28点/面

tobii